

資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [選挙活動](#) | [選挙活動の基本](#) 1 [三大行動原理](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

選挙活動の基本 1 三大行動原理

選挙とは、国家・社会を統治する権力者（権力団体）を国民一人ひとりの意思表示（票）によって選出することを言います。したがって、一定のルールに基づき、公正に選挙活動を進めることが必要となります。

また選挙は、勝たなければ意味がありません。

人間の歴史は、国家統治の権力闘争の連続であり、第二次世界大戦以前までは、主に「戦争・暴力」を背景に、生命を賭けた闘いによって統治体制の転換、継承が行われていました。その結果、権力者は権力を死守するため、絶対服従を強いる国家統制をとり、国民の基本的人権は蹂躪されてきました。しかし、人間は「マグナカルタ」以来、自由と平等を求め、その具現の為の「民主主義」を徐々に生活決定の中に取り入れ拡大してきました。

そして、1789年のフランス大革命により「自由と平等」の基本的人権が、国家といえども侵すべからざるものとして確立したのです。しかし、その後このような「人権」が定着するまでには相当な時間が必要となります。

権力の転換・移譲は、命を賭けた力（暴力）による闘いではなく、その権力の下に統治される人間（国民・市民）の意思表示によって決定していく。国民・市民が「基本的人権」を基にして、意思表示を行う。こうすることにより、誰もが人間として尊重され、豊かな人生を創造する社会・国家を創ることができる。今日では、このようにして誕生した「選挙」を通して、国の統治を行う権力者及びその団体を選出しています。

したがって、「選挙」は、戦いであり、戦いくさでありますから、闘う以上「勝たなければ」意味がありません。しかし同時に、その闘い（選挙）には、一定のルールが存在することになります。

勝つために「手段」を選ばず式のやり方はしない、ということです。

そして、当然のことながら、選挙に出る「権力候補者」に、味方してくれる仲間、戦いに賛同し、参加してくれる国民・市民（有権者）の多数形成が求められます。

選挙を行うとは、このような「人間」としての普遍的価値を「活かし・守り・高め」ていく意味と、幸福創造への希望が含まれているのです。

選挙活動の根底にある大切なもの「三大行動原理」

「絶対に勝つ。 違反のない活動。 共感と参加。」

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

